

## 県内の患者数

矢印は、前週の数に対して ↑増加 ↓減少 →横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 377	123	百日咳	→ 1	1
RSウイルス感染症	↗ 54	31	ヘルパンギーナ	↗ 4	2
咽頭結膜熱	↘ 13	17	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	→ 59	59
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↗ 69	45	急性出血性結膜炎	→ 1	0
感染性胃腸炎	↗ 822	582	流行性角結膜炎 (はやり目)	↗ 16	12
水痘	↗ 74	67	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 1	3	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↗ 7	1	マイコプラズマ肺炎	→ 5	6
突発性発しん	↗ 47	20	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い  
感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ インフルエンザ
- ☀ 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 822 件(前週報告数 582 件)と増加。  
地区別では、山鹿、菊池、人吉に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の164件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数 377 件(前週報告数 123 件)と増加。  
地区別では、山鹿、人吉、熊本に多く報告がみられる。  
年齢別では、10～14歳の59件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 74 件(前週報告数 67 件)と増加。  
地区別では、山鹿、菊池、天草に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の17件を最多に9歳以下からの報告である。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	141	14	4	33	220	24	0	5	21	0	0	20	1	14				1
山鹿保健所	37	0	0	0	76	7	0	0	3	0	0	0	*	*				
菊池保健所	38	3	4	9	99	10	0	0	3	0	0	13						
阿蘇保健所	17	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	1	*	*				
御船保健所	5	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	19	5	0	1	92	5	0	0	0	0	0	4						
水俣保健所	10	0	1	0	4	0	0	1	1	0	0	8	*	*				
人吉保健所	30	7	0	9	72	2	0	0	3	0	0	1	*	*				
有明保健所	29	0	3	4	93	11	0	0	7	0	0	3		2				3
宇城保健所	19	16	0	5	65	6	0	0	4	0	0	8						
天草保健所	32	9	1	7	84	9	1	1	5	1	4	1						1
計	377	54	13	69	822	74	1	7	47	1	4	59	1	16	0	0	5	0

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	377		3	21	30	28	22	45	30	20	14	19	59	8	18	15	19	9	10	3	4	
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	54	14	19	15	4	2																
咽頭結膜熱	13			3	2			2	1				4	1								
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	69			1	6	6	7	12	10	5	6	2	10		4							
感染性胃腸炎	822	4	70	164	90	68	65	55	48	33	34	25	96	15	55							
水痘	74	4	10	17	14	12	3	9	2		2	1										
手足口病	1					1																
伝染性紅斑	7				1				2	2	1		1									
突発性発しん	47	1	20	22	4																	
百日咳	1																				1	
ヘルパンギーナ	4					2				1	1											
流行性耳下腺炎	59				2	6	8	7	12	11	7	2	1	3								
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1			1																		
流行性角結膜炎	16											1	1	2		2	5	1	2	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	5		2	2																	1	
クラミジア肺炎	0																					

### 大きな流行が発生 又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿・菊池・八代  
人吉・宇城・天草

流行性耳下腺炎：水俣

### 感染性胃腸炎



今週の感染性胃腸炎の報告数は、先週より240件増加し822件でした。地域別では、山鹿、菊池、八代、人吉、宇城、天草が警報レベルに達しています。また、県内でノロウイルスを原因とした感染性胃腸炎の集団感染が発生しました。イベントや医療機関、社会福祉施設、学校などが集まる場所では特に注意が必要です。感染性胃腸炎の原因には様々なウイルスや細菌などがあります。症状は、原因となる病原体や患者の状態により異なりますが、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などがあります。子供の場合、元気がなかったり、不機嫌な状態が続く時はすぐに主治医の診察を受けてください。家庭では脱水を起こさないよう、水分補給に努めましょう。今の季節はウイルスを原因とするものが増加します。中でもノロウイルスは感染力がきわめて強く、調理や食事の前、トイレの後などの手洗いをしっかり行い、予防に努めましょう。また、具合が悪い人(下痢・おう吐等の症状がある人)は、学校や仕事に無理して行かない、調理・配膳にかかわらないなど他の人に感染をひろげないように注意しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課